

TOPICS  
1

## トピックス…①

## 依然として労働力不足が豪州酪農の最優先課題

わが国酪農の持続的発展にとって、労働力不足が喫緊の課題と言われて久しいが、豪州酪農においても、労働力不足が現在の最優先課題となっている。豪州酪農家連盟（ADF）は5月17日、労働党が勝利した連邦議会議員選挙（5月21日投票・開票）に先立ち、今後とも労働力不足問題が議題の上位に掲げられなければならないことを、すべての政党と無党派層に対して改めて主張していくことを公表した。

労働力は豪州酪農における重要な経営要素であり、労働市場が豪州の酪農部門の需要をどの程度満たしているかに関心が高まっている。この関心は最近、COVID-19のパンデミックによって高まったが、このパンデミックによって、海外からの労働者の受入可用性が低下し、また豪州国内での人口移動が制限された。

ADFのリック・グラディガウ会長は、「豪州の他の多くの産業部門と同様に、ポスト・コロナにおける国内完全就業と国境開放（渡航制限の解除）の遅れの結果として、酪農は慢性的な労働力不足を経験している」と次のように述べた。

「状況は絶望的です。COVID-19によって加速しましたが、この状況は新しい問題ではありません。過去18ヶ月間に労働政策の改善は進みましたが、労働力不足問題は次期政権においても優先課題であり続けます。」

「特に、労働党（次期政権）が豪州の酪農家と広範な酪農産業の要請にどのように応えようとしているのかを見定める必要があります。しかし、選挙に先立つ最後の数日間においては、労働党党首アルバニー主導の新政府がどのように対応するつもりなのかは不明のままです。」

また、グラディガウ会長は、酪農家による日々の労働力不足問題に対する取組をさらに支援する方策が他にもあることを指摘している。

「高齢者年金の控除額から給与所得を免除してほしいという高齢者からの要望は、高齢者の就労を促進するための試みであり、酪農家を支援する一例として、支持されなければなりません。現在の高齢者年金制度は、多くの高齢者が働くのを妨げています。高齢者年金から労働所得を控除することを免除すれば、高齢者年金の受給者が仕事に復帰し、酪農場や他の多くの産業における重大な労働力不足問題の解消に役立つことを意味します。」

「酪農地域には退職者がおり、その多くは働きたいと願っています。しかし、高齢者年金における控除制度のために、就労することが抑制されています。また、多くの退職者は現在も酪農地域に住んでいるため、就農者の宿泊施設不足の問題のいくつかはこの提案で軽減されます。これは、就農の障害を克服するためのもう一つの積極的なステップとなるでしょう。労働力を必要としている産業は、シニア・オーストラリア協会と協力し、酪農産業をテストケースとして問題解決を試みることを期待します。」

就農者の宿泊施設不足に関しては、ADFのデイビッド・イナル最高経営責任者（CEO）も、住宅市場における圧力の高まりによって労働力不足が増幅されていることを指摘している。住宅の賃貸料が高騰し、住宅価格も確実に上昇している。酪農地域では、漁業や林業の立地としばしば競合している。これは、住宅の確保が酪農労働者にとって特に制約されていることを意味する。したがって、ADFはこれらの問題を解消するため、酪農生産基盤の構築、特に酪農地域の中で住宅が不足している地域に住宅を増やすための政府投資を歓迎している。

さらにグラディガウ会長は、政府の農業労働力確保戦略と2021年予算の3,000万ドルの支出公約は、セクター別の課題に対処するための良いスタートだったが、さらなる投資が必要であり、「少なくとも、3億ドルあれば労働力不足を解消し、将来に必要な労働力を確保するための大規模な労働者育成基金の設立を可能にするでしょう。」と述べている。

ANZSCO（豪州とニュージーランドの職業の標準分類）の見直し、酪農場での雇用と技術の向上、海外から労働力を確保しやすくする「酪農産業労働協定」の更新などは、過去18ヶ月間に進歩を挙げている。現在、雇用申請書を提出している者が数人おり、COVID-19の渡航制限が緩和されたことで、申請処理が優先され、この申請がますます多くの酪農家にとってより実現可能になることが期待されている。

労働力確保においては、就農ビザはもう一つの重要な前進であり、それは計画されており、試行の準備ができている。一方、ベトナムは現在その協定に署名しているが、この試行を開始するにはいくつかの困難がともなう。就農ビザが効率的に機能できるようになることは、酪農部門にとって最優先事項であると同時に、AI技術者などの分野でも特定のスキルが不足しているため、国際的な求職者に対応するのに役立つ。

このような成功にもかかわらず、ADFはさらなる政策的支援を今後とも求め続けるとしている。酪農部門における国際的人材交流と就農パスポートの立ち上げの成功は、政府の5,000万ドルに上る農業労働力確保計画の一環として、ビクトリア州政府から助成された71.5万ドルによって支えられている。これは、全国農業者連盟（NFF：National Farmers' Federation）の活動と直接的なロビー活動の成果であると言われている。